

家畜衛生だより 令和2年7月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

牛の暑さ対策について

牛は暑さにとても弱い動物であり、暑い日本の夏は牛にとって、特に厳しい環境です。高い気温が牛にストレスを与えると共に、牛の体温を上げ、様々な悪影響を及ぼします。

◎牛の体温が上がってしまう気温

- ・ホルスタイン（泌乳牛）…約25℃
⇒ 和歌山市の昨年の4月下旬の最高気温！
- ・ホルスタイン（乾乳牛）…約30℃
- ・黒毛和種 … 約30℃
⇒ 和歌山市の昨年の5月下旬の最高気温！

◎牛の体温が上がるとどうなる？

- 食欲が落ちる
- 繁殖成績が下がる
(乳牛の場合)
 - 乳量が減る
 - 乳成分が悪化する

➡➡➡ **【最悪、廃用・死亡】**



◎暑さ対策をどうする？

- ① 風の流れがよい牛舎構造にする
- ② 扇風機を多く設置する
- ③ 換気扇を設置する
- ④ ミスト+送風設備を設置する
- ⑤ つなぎ飼いの場合、日よけを設置する
- ⑥ 屋根などに水をまく
- ⑦ 水槽をきれいにし、新鮮な水がいつでも沢山飲めるようにする
- ⑧ 汗や尿でミネラルが体から出ていくので、塩・重曹の給与を増やす
- ⑨ 複数回に分けての給餌などで、粗飼料をできるだけ食べさせる



**牛も人も涼しくし、
暑い夏を乗り切りましょう！**

